授業科目名	心理学
授業科目名(英)	Psychology
教員名	福田」みのり
開講年度学期	2021年度 前期
曜日時限 開講学科	木曜3限 工学部 電気工学科
授業形態	エナル・电スエナパ
単位数	2. 0
学年	1~3年
科目区分	一般科目(人間科学) 講義・演習
単位区分 JABEE修得要件	選択 電気電子工学コース 選択
教職課程修得要件	
授業概要	人間の心はどのような仕組みをもち、どのような働き方をするのであろう。実体のない対象をどうすれば捉えられるのか。モノ、ヒト、コトにどうかかわり、どう対応していこうとしているのか。心理学の書物を読んでみても、 人の具体的個別的な心理について書かれていることは少ない。そんな疑問に答えたい。心の世界に科学的に迫ることの面白さと難しさを伝える。
達成目標	心を科学的に理解できるようなることを目標とする。そのための具体的目標として、以下のものを置く。 1. 心理学において使用される専門学術用語、概念、理論などを理解できる。 2. 私たちの日常体験を1と関連させ、記述したり説明したりできる。 3. 1や2をふまえて、心理学を学ぶことの意味について自分なりに考えることができる。
学習教育目標	目標(A) 広い視野での社会観と責任能力を持つ技術者: ○ 日標(B) コミュニケーション能力 : 目標(C) 数学・自然科学・情報技術の知識の習得 : 目標(D) 技術を実践する能力の養成 : 目標(E) 電気電子情報工学の知識に関する能力の養成 : 日標(F) エンジニアリングデザイン能力の養成 :
成績評価方法	達成目標事項について、演習・小問(15点)、試験(50点)、レポート(35点)の合計に応じて以下のように評価を与える。 S:90~100点、A:80~89点、B:70~79点、C:60~69点、D:59点以下不合格 演習・小問については毎回の授業で提出するコメントカードへの取組により評価する。 達成目標1と2について試験を課し、達成目標3についてレポートを課す。 試験及びレポートの詳細については、授業中に指示する。 再試験:無
教科書	「心理学へのいざない」 福田廣・名島潤慈(監) 北大路書房 授業レジュメについては、適宜配布する。
参考書 履修上の注意	必要に応じ資料配布 金曜日7・8 時限開講、後期開講予定の「心理学」と同じ内容のため、どれかを履修すること。
科目の位置づけ	立唯日/・8時版開講、後期開講アたの「心理子」と同じ内谷のだめ、とれかを履修すること。 目標A:【心理学】、論理学、環境論、国際事情、健康科学 等⇒卒業研究
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。
	第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解
	第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性
	第4回:知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム
	第5回:記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか 記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶
	第6回:記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ 第7回: 学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか
	第7回:学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化 第8回:学習と動機づけ - どのようにしてやる気が生じたり減じたりするのか
	観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因 第9回:動機づけの複雑さ
	学習性無力感、エンハシング効果とアンダーマイニング現象 第10回:思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか
	論理的思考、知能モデル、知能指数 第11回:知能と性格 — 「その人らしさ」とはどういうことか
	類型論、因子論、性格測定 第12回:臨床心理 – 個別的な心理解と不適応への援助をどのように行うのか
	意識と無意識、心理療法 第12回・社会心理(1) 仲老にトス影響が仲老認知けどのトラかものか

オフィスアワー 注意 ナンバリングコード 授業コード	特になし	,	木曜日	14:40~16:10	4号館研究室			
注意	特になし	,	木曜日	14:40~16:10	4号館研究室			
オフィスアワー	火曜日	16:20~17:5 <u>0</u> ,	木曜日	14:40~16:10	4号館研究室			
授業計画								
	第16回:	定期試験の解	説と振り	返り				
		第1回から第1	4回までの	り授業内容の達	成度を確認			
	第15回·	援助と攻撃、 定期試験	囚人のジ	レンマ、差別と	:信頼			
	第14回:	社会心理(2)						
		社会的促進と	社会的手	抜き、同調行動	为、認知的不協 和	和理論		
	I sta I⊍I∺I.	TL75/12/# \1/	108	ひによる記号)	기반계 해소 AUTA C V	いみしゅひいい		

授業科目名	
授業科目名(英)	Psychology
教員名	福田 みのり
開講年度学期曜日時限	2021年度 前期 金曜4限
開講学科	工学部 電気工学科
<u>授業形態</u> 単位数	<u> </u> 2.0
学年	1~3年
科目区分	一般科目(人間科学) 講義・演習
単位区分 JABEE修得要件	選択 電気電子工学コース 選択
教職課程修得要件	
授業概要	人間の心はどのような仕組みをもち、どのような働き方をするのであろう。実体のない対象をどうすれば捉えられるのか。モノ、ヒト、コトにどうかかわり、どう対応していこうとしているのか。心理学の書物を読んでみても、 人の具体的個別的な心理について書かれていることは少ない。そんな疑問に答えたい。心の世界に科学的に迫ることの面白さと難しさを伝える。
達成目標	心を科学的に理解できるようなることを目標とする。そのための具体的目標として、以下のものを置く。 1. 心理学において使用される専門学術用語、概念、理論などを理解できる。 2. 私たちの日常体験を1と関連させ、記述したり説明したりできる。 3. 1や2をふまえて、心理学を学ぶことの意味について自分なりに考えることができる。
	目標(A) 広い視野での社会観と責任能力を持つ技術者: 〇
**	目標(B) コミュニケーション能力 : 目標(C) 数学・自然科学・情報技術の知識の習得 :
学習教育目標	目標(D) 技術を実践する能力の養成:
	目標(E) 電気電子情報工学の知識に関する能力の養成 :
	達成目標事項について、演習・小問(15点)、試験(50点)、レポート(35点)の合計に応じて以下のように評価
	を与える。 S:90~100点、A:80~89点、B:70~79点、C:60~69点、D:59点以下不合格
成績評価方法	演習・小問については毎回の授業で提出するコメントカードへの取組により評価する。
	達成目標1と2について試験を課し、達成目標3についてレポートを課す。
	試験及びレポートの詳細については、授業中に指示する。 再試験:無
教科書	「心理学へのいざない」 福田廣・名島潤慈(監) 北大路書房 授業レジュメについては、適宜配布する。
参考書	必要に応じ資料配布
履修上の注意 科目の位置づけ	木曜日5・6時限開講、後期開講予定の「心理学」と同じ内容のため、どれかを履修すること。 目標A:【心理学】、論理学、環境論、国際事情、健康科学 等⇒卒業研究
MICHELIN	【授業外学習の課題】
	復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。
	第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること
	第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解
	第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性
	第4回:知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか
	図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム 第5回:記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか 記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶
	第6回:記憶(2)
	忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ 第7回:学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化
	第8回: 学習と動機づけ - どのようにしてやる気が生じたり減じたりするのか 観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因
	第9回:動機づけの複雑さ 学習性無力感、エンハシング効果とアンダーマイニング現象
	第10回:思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか
	論理的思考、知能モデル、知能指数
	論理的思考、知能モデル、知能指数 第11回:知能と性格 — 「その人らしさ」とはどういうことか
	論理的思考、知能モデル、知能指数

	काण्य .	. 在五心在(1)	165	コーチ のかすい	7世日 心かける (いかりゆひいか		
		社会的促進と	社会的手	抜き、同調行動	协、認知的不協和	和理論		
	第14回:	: 社会心理 (2)			/ +=			
	₩15 E	援助と収撃、 : 定期試験	凶人のン	レンマ、差別と	11111111111111111111111111111111111111			
	弗15凹:	: 疋朔試駅 第1回から第1	/同士で/	の授業内容の達	成度を確認			
	第16回 ·	: 定期試験の解	4回より 戦と振り	が技术内合の達 でし	以及で唯 認			
	# 10El .		元こ派り					
授業計画								
1文末 計 凹								
	l .							
	l .							
	l .							
	l .							
	l .							
	n==	10.00~17.50	→ n= -	14.40~10.10	4			
オフィスアワー	火曜日	16:20 17:50,	不曜日	14:40~16:10	4号館研究室			
注意	特になし							
ナンバリングコード 授業コード	EL91020	05						
授業コード	■99FE051							

授業科目名	心理学
授業科目名(英)	Psychology
教員名	福田 みのり
開講年度学期	2021年度 後期
曜日時限	金曜4限
開講学科	工学部 電気工学科
授業形態	
単位数	2.0
学年	1~3年
科目区分	一般科目(人間科学) 講義・演習
単位区分	選択
JABEE修得要件	電気電子工学コース 選択
教職課程修得要件	
授業概要	人間の心はどのような仕組みをもち、どのような働き方をするのであろう。実体のない対象をどうすれば捉えられるのか。モノ、ヒト、コトにどうかかわり、どう対応していこうとしているのか。心理学の書物を読んでみても、 人の具体的個別的な心理について書かれていることは少ない。そんな疑問に答えたい。心の世界に科学的に迫ることの面白さと難しさを伝える。
達成目標	心を科学的に理解できるようなることを目標とする。そのための具体的目標として、以下のものを置く。 1. 心理学において使用される専門学術用語、概念、理論などを理解できる。 2. 私たちの日常体験を1と関連させ、記述したり説明したりできる。 3. 1や2をふまえて、心理学を学ぶことの意味について自分なりに考えることができる。
	目標(A) 広い視野での社会観と責任能力を持つ技術者: ○
	目標(B) コミュニケーション能力:
学習教育目標	目標(C) 数学・自然科学・情報技術の知識の習得 :
THXHUIK	目標(D) 技術を実践する能力の養成:: : : : : : : : : : : : : : : : : : :
	目標(E) 電気電子情報工学の知識に関する能力の養成:
	<u>日標(F) エンジニアリングデザイン能力の養成</u> 達成目標事項について、演習・小問(15点)、試験(50点)、レポート(35点)の合計に応じて以下のように評価
	を与える。
	S:90~100点、A:80~89点、B:70~79点、C:60~69点、D:59点以下不合格
成績評価方法	演習・小問については毎回の授業で提出するコメントカードへの取組により評価する。
	達成目標1と2について試験を課し、達成目標3についてレポートを課す。
	試験及びレポートの詳細については、授業中に指示する。
	再試験:無
教科書	「心理学へのいざない」 福田廣・名島潤慈(監) 北大路書房
参考書	授業レジュメについては、適宜配布する。 必要に応じ資料配布
<u> 参与音</u> 履修上の注意	
科目の位置づけ	
	目標A:【心理学】、論理学、環境論、国際事情、健康科学 等⇒卒業研究
	【授業外学習の課題】
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2)
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) ・心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解 第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解 第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解 第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性 第4回:知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解 第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解 第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性 第4回:知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム 第5回:記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶 第6回:記憶(2)
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解 第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性 第4回:知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム 第5回:記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶 第6回:記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ 第7回:学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解 第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか。こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性 第4回:知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか。図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム 第5回:記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか。記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶 第6回:記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解 第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性 第4回:知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム 第5回:記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶 第6回:記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ 第7回:学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化 第8回:学習と動機づけ - どのようにして複るが生じたり減じたりするのか 観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理学」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解 第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性 第4回:知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム 第5回:記憶(1) - 情報を如何に貯え、如何に使うのか 記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記憶 第6回:記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ 第7回:学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化 第8回:学習と動機づけ - どのようにして被得するのか 観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因 第9回:動機づけの複雑さ 学習性無力感、エンハシング効果とアンダーマイニング現象 第10回:思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1) 授業についてのオリエンテーション 「心理」、「心理学」から連想すること、イメージすること 第2回:心理学とは(2) 心理学の研究パラダイム、科学としての「こころ」理解第3回:感覚 - 外界の情報をどのように受け止めるるのか。こころの窓口としての感覚、各感覚の特殊性と諸感覚の共通性第4回:知覚 - 受け止めた情報をどのように処理し、行動するのか 図と地、錯視、運動視現象のメカニズム、立体視、恒常性現象のメカニズム 第5回:記憶(1) - 情報を必のように処理し、行動するのか 記憶モデル、貯蔵庫モデル、系列位置曲線、作業記億第6回:記憶(2) 忘却の理論、プライミング効果、ネットワークモデル、スキーマ第7回:学習 - 新しい行動をどのようにして獲得するのか 条件付け、強化、般化と分化第8回:学習と動機づけ - どのようにして獲得するのか 第9回:動機づけ - どのようにしてでる気が生じたり減じたりするのか 観察学習、内発的動機付け、社会的動機、動因と誘因 第9回:動機づけの複雑さ 学習性無力感、エンハシング効果とアンダーマイニング現象第10回:思考と知能 - 「頭がよい」とはどういうことか 論理的思考、知能モデル、知能指数 第11回:知能と性格 - 「その人らしさ」とはどういうことか
	【授業外学習の課題】 復習として教科書の関連する各章を読むこと。最終レポート作成を可能にするためには、各章を読み取り自分の考えを深めることが重要となる。また、自分の日常体験を振り返り、専門用語と関連させて考えたり、疑問を持って深く考えることを心がけること。 第1回:心理学とは(1)

		・ユ云心性 (1/ 社会的促進と	社会的手	14 による 彩音(抜き、同調行動	~ 旭日 畝 畑 は C の 助、認知的不協利	いみ ノダゼいが.		
	第14回:	: 社会心理(2) 援助と攻撃。	囚人のジ	シレンマ、差別と	- 信頼			
	第15回:	定期試験						
	第16回:	第1回から第1 定期試験の解	説と振り	の授業内容の達 返り	队 及を催認			
授業計画								
	L							
オフィスアワー			木曜日	14:40~16:10	4号館研究室			
注意	特になし	<u>, </u>						
ナンバリングコード 授業コード	QQFF050	บอ						
	⊪JJI LUUZ							